

残存しているので、左のチギオンから正中矢状面までの距離を測り、これを2倍することによって頬骨弓幅の推定値を算出してみると、 $[68\text{mm} \times 2 = 136\text{mm}]$ となる。また中顔幅は10.4mmで、顔面の幅径は著しく大きいものではないが、最小前頭幅が小さいので、幅径は広くみえる。顔面の高径は、上顎骨齒槽突起に骨吸収が生じており、顔高および上顔高はともに計測できない。しかし観察したところでは顔面の高径は著しく低く、低顔である。

眼窩幅は44mm(右)、43mm(左)、眼窩高は32mm(右)、33mm(左)で、眼窩示数は72.73(右)、76.74(左)となり、右側はchamaekonch(低眼窩)に、左側はmesokonch(中眼窩)に属している。

鼻幅は25mm、鼻高は47mmで、鼻示数は5319となり、chamaerrhin(低鼻)に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が19mm、鼻根横弧長は23mmで、鼻根彎曲示数は82.61となり、前頭突起水平傾斜角は74度で小さく、鼻骨の隆起はやや強いことがうかがえる。また鼻根角は128度、鼻根陥凹示数は1739となり、鼻根部の陥凹はやや深い。

側面角は鼻側面角のみが計測可能で、その角度は86度である。

3. 下顎骨

完全に残存しており、諸径はあまり大きいものではないが、筋突起は大きく、下顎枝の幅径も大きい。

4. 歯

上顎骨齒槽突起および下顎骨の齒槽部には骨の萎縮や吸収が認められるが、歯は7本釘植しており、これを歯式で示せば次のとおりである。

| | |
|---|---|
| \diagup × × × × × × × | $\times \times \times \times \times M_2 \diagdown$ |
| $\times \times \times P_3 P_1 C I_2 \bigcirc$ | $\times \times \times \times P_2 M_1 \times \times$ |

}

 \diagup : 不明
 \bigcirc : 齒槽開存
 \times : 齒槽閉鎖 以下同じ

咬耗度はBrocaの1~3度で、歯によって咬耗状態に差が認められる。

② 四肢骨

1) 上肢骨

1. 上腕骨

左右とも骨体が存在していた。諸径はやや小さいが、三角筋粗面は良く発達している。

推定中央位での最大径は21mm（右、左）、最小径は16mm（右、左）で、骨体断面示数は76.19（右、左）となり、扁平性はあまり強いものではない。また中央周は61mm（右）、63mm（左）、最小周は56mm（右）、58mm（左）で、骨体は細い。

2. 桡骨

右側は完全で、左側も桡骨頭を欠く以外は完全に残存していた。両側とも骨間縁の近位部には結節状の隆起が認められる。

長径は短かく、諸径はやや小さい。

3. 尺骨

左側は肘頭を欠損しており、右側は遠位端のみが残存していた。

長さは短かく、骨体の諸径はやや小さい。

2) 下肢骨

1. 寛骨

左右とも腸骨翼の一部を欠失している以外は完全である。全体の径はあまり大きいものではないが、寛骨臼はやや大きく、また大坐骨切痕の角度および恥骨下角は小さい。

2. 大転骨

右側は大転子と外側顆とを、左側は大転子と遠位端とを欠損していた。長径は著しく短かく、骨体の諸径もやや小さいが、粗線の発達は比較的良好である。

最大長は383mm、骨体中央矢状径は29mm（右）、28mm（左）、中央横径は24mm（右、左）で、骨体中央断面示数は120.83（右）、116.67（左）となり、骨体は後方へやや突出し、弱い柱状形成の像を呈しているが、縄文人にみられる程著明なものではない。中央周は86mm（右）、84mm（左）で、骨体はあまり大きいものではない。また上骨体断面示数は92.31（右）、88.89（左）となり、扁平性はほとんど認められない。

3. 脛骨

左右とも両端を欠損していた。長径は短かく、骨体の諸径もあまり大きいものではない。ヒラメ筋線の発達は弱いが、後面には鉛直線が認められ、中央断面型は両側ともヘリチカのIV型を呈している。

推定中央位での最大径は30mm(右、左)、横径は22mm(右、左)で、中央断面示数は73.33(右、左)となり、両側とも扁平性は認められない。また骨体周は81mm(右)、80mm(左)、最小周は72mm(右、左)で、骨体はやや細い。

4. 腓骨

左右とも骨体の一部が残存していたにすぎない。

(3) 推定身長値

右大腿骨と右桡骨のそれぞれ最大長からPearson および藤井の式から推定身長値を算出すると第24表のとおりである。Pearson の式から算出すると大腿骨からは153.31cm、桡骨からは154.62cmとなり、低身長である。

(4) 性別・年齢

性別は、大坐骨切痕の角度や恥骨下角が小さいことや眉上弓の隆起が強いことから男性と考えられ、年齢は縫合が内板では癒合し、外板にも一部癒合が認められることから、熟年と推定される。

57年4号墳1号人骨(性別不明・小児)

現場では後頭骨、上顎骨のそれぞれ一部と歯を確認したが、後頭骨と上顎骨の保存状態は著しく悪いもので、観察することもできないものであった。残存歯はすべて上顎歯で、これを歯式で示す次のとおりである。

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----------------|-------------------|-------------------|---|---|---|---|---|-----|----------------|----------------|---|
| / | / | M ₁ | (P ₂) | (P ₁) | / | / | / | / | / | (C) | M ₁ | / | / |
| | | m ₂ | | | | | | | | | m ₁ | m ₂ | |

} () : 歯槽内埋伏
 . : 遊離歯

第1大臼歯は既に萌出しているが、第1小臼歯は未萌であり、また犬歯の歯根の形成状態を含めて検討した結果、年齢は7~8才(小児I期)位と考えられる。性別は不明である。

57年5号墳1号人骨(男性・熟年)

(1) 頭蓋

右側頭骨岩様部の大部分と後頭骨の右側半および右側の頬骨弓を欠損している以外は完全に残存していた。

1. 脳頭蓋

後頭隆起はやや突出しているが、乳様突起はやや小さい。縫合は三主縫合とも内板では完全に癒合しており、外板においても部分的に癒着が認められる。

頭蓋最大長は184mm、頭蓋最大幅は137mm、バジオン・プレグマ高は137mmで、頭蓋長幅示数は7.446、頭蓋長高示数は7.446、頭蓋幅高示数は100.00となり、頭型としては、dolicho-, ortho-, akrokran (長・中・尖頭)に属している。

また頭蓋水平周は517mmである。

2. 顔面頭蓋

眉上弓の隆起は著しく強いものではないが、やや隆起している。鼻根部は狭く、鼻骨もやや隆起しているが、鼻根部の強い陥凹は認められない。

右頬骨弓を欠損しているため、頬骨弓幅の計測はできないが、左側は完全に残存しており、チギオンを求めることができるので、左のチギオンと正中矢状面までの距離を測り、これを2倍して頬骨弓幅の推定値を算出してみると、 $[67\text{mm} \times 2 = 134\text{mm}]$ となる。中顔幅は98mmで、幅径はあまり大きいものではない。顔面の高径は、顔高が113mm、上顔高は64mmで、低顔の傾向が著しい。ウィルヒョーの顔示数および上顔示数はそれぞれ115.31、65.31となり、両示数とも小さい。

眼窩幅は42mm(右、左)、眼窩高は33mm(右、左)で、眼窩示数は78.57(右、左)となり、両側ともmesokonch(中眼窩)に属している。

鼻幅は28mm、鼻高は50mmで、鼻示数は56.00となり、chamaerrhin(低鼻)に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が18mm、鼻根横弧長は22mmで、鼻根彎示数は81.82となり、鼻骨はやや隆起している。また鼻根角は136度でやや小さく、鼻根陥凹示数は20.69で大きい。すなわち、鼻根部は狭く、鼻骨の隆起はやや強い。しかしその隆起は鼻骨の途中からおきているので、鼻根部の陥凹は弱い。

側面角は、全側面角が83度、鼻側面角は85度、歯槽側面角は75度で、歯槽性の突頭は強くはないが、わずかに突頭傾向が認められる。

3. 下顎骨

右側下顎枝と左側下顎角を欠損していたが、下顎体の保存状態は良好である。諸径は

あまり大きいものではないが、筋突起はやや大きく、下顎切痕は浅い。

4. 歯

歯は良く釘植しており、残存歯を歯式で示せば次のとおりである。

| | | |
|---|--|--------------------------------|
| ⊗ ⊗ ⊗ ⊗ ○ ○ I ₂ I ₁ | ○ I ₂ C P ₁ P ₂ ⊗ ⊗ ⊗ | ⊗ : 歯槽閉鎖 ○ : 歯槽開存 / : 不明 |
| / M ₂ M ₁ P ₂ P ₁ C I ₂ I ₁ | I ₁ I ₂ C P ₂ ⊗ M ₁ M ₂ / | |

咬耗度はBrocaの2～3度である。

(2) 四肢骨

四肢骨の保存状態はあまり良いものではない。

1) 上肢骨

左側鎖骨、桃骨、尺骨および左側上腕骨の一部が残存していた。

1. 桃骨

左側は完全であるが、右側は茎状突起を欠いている。長さは短かく、骨体の径もあまり大きいものではない。

2. 尺骨

右側は肘頭を、左側は近位部を欠いている。諸径はあまり大きいものではないが、骨間縁は中央よりやや近位部において著しく突出しており、その程度は左側の方が強い。

2) 下肢骨

左右の寛骨、左右の大腿骨、左側脛骨および左側膝蓋骨が残存していた。

1. 大腿骨

左側は遠位部を欠損しており、右側は遠位部のみが残存していた。諸径はやや小さく、粗線の発達も著しく悪い。

計測ができたのは左側のみで、推定中央位における矢状径は23mm(左)、横径は26mm(左)で、中央断面示数は88.46(左)となり、骨体は矢状径よりも横径の方が大きく、断面型は横広3の楕円形を呈している。中央周は78mm(左)で骨体は細くまた上骨体断面示数は70.97(左)となり、骨体上部は扁平である。

2. 脛骨

左側の近位部が残存していたが、観察したところでは諸径はやや小さい。

(3) 推定身長値

左桃骨最大長からPearsorおよび藤井の式を用いて推定身長値を算出すると表24のと

おり、158.21cm、156.33cmとなり、低身長である。

(4) 性別・年齢

性別は、四肢骨の径はあまり大きいものではないが、眉上弓から眉間へかけての隆起がやや強いことや外後頭隆起の発達も比較的良好なことから、男性と考えられ、年齢は縫合が内板では完全に癒合閉鎖しており、外板においても癒着が部分的に認められることから、熟年と推定される。

57年5号墳2号人骨（女性・熟年）

(1) 頭蓋

後頭骨の右側の一部が欠損している以外は完全である。

1. 脳頭蓋

外後頭隆起の発達はあまり強いものではなく、また乳様突起も小さい。縫合は三主縫合のうち冠状縫合とラムダ縫合の一部は内板においては癒合しており、冠状縫合では外板の一部にも癒着が認められるが、矢状縫合とラムダ縫合の一部は内外両板とも開離している。

頭蓋最大長は176mm、頭蓋最大幅は135mm、バジオン・ブレグマ高は132mmで、頭蓋長幅示数は76.70、頭蓋長高示数は75.00、頭蓋幅高示数は97.78となり、頭型はmeso-, hypsi-, metriokran（中・高・中頭）に属している。

また頭蓋水平周は504mm、横弧長306mm、正中矢状弧長は367mmである。

2. 顔面頭蓋

顔面頭蓋は完全である。

眉上弓の隆起は弱く、鼻根部は扁平である。

頬骨弓幅は129mm、中顔幅は96mm、顔高は110mm、上顔高は61mmで、高径、幅径ともに小さい。コルマンの顔示数および上顔示数はそれぞれ85.27、47.29で、ウィルヒューの顔示数および上顔示数はそれぞれ114.58、63.54となり、低顔の傾向が著しい。

眼窩幅は43mm（右）、42mm（左）、眼窩高は30mm（右）、31mm（左）で、眼窩示数は69.77（右）、73.81（左）となり、両側ともchamaekonch（低眼窩）に属している。

鼻幅は26mm、鼻高は44mmで、鼻示数は59.09となり、hyperchamaerrhin（過低鼻）に属している。

鼻根部の計測値は前眼窩間幅が18mm、鼻根横弧長は20mmで、鼻根彎曲示数は90.00となり、鼻根部は扁平である。前頭突起水平傾斜角は71度で小さいが、鼻根角は138度で大きく、また鼻根陥凹示数も16.67と小さく、鼻根部の陥凹は弱い。

また全側面角は83度、鼻側面角は87度、齒槽側面角は72度で、齒槽性突顎が認められる。

3. 下顎骨

ほぼ完全で、諸径はやや小さいが、下顎枝は幅広く、下顎切痕は浅い。

4. 齒

齒は釘植しており、これを齒式で示すと次のとおりである。

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----------------|----------------|----------------|---|----------------|----------------|----------------|----------------|---|----------------|----------------|----------------|---|
| / | ⊗ | ○ | ○ | P ₁ | C | I ₂ | I ₁ | I ₁ | I ₂ | C | P ₁ | ○ | ⊗ | / |
| ⊗ | ⊗ | M ₁ | P ₂ | P ₁ | C | I ₂ | I ₁ | I ₁ | I ₂ | C | P ₁ | P ₂ | M ₁ | ⊗ |

⊗ : 齒槽閉鎖
 / : 不明
 ○ : 齒槽開存

咬耗度はBrocaの1度である。

(2) 四肢骨

1) 上肢骨

すべての骨が残存しており、保存状態も良好なものである。

1. 上腕骨

右側は大結節を欠く以外は完全で、左側は骨体が残存していた。長径は短いが、三角筋粗面の発達は良好である。

最大長は264mm(右)、骨体最小周は55mm(右、左)、中央周は61mm(右、左)で、骨体はやや細く、長厚示数は2.083(右)となる。中央最大径は21mm(右、左)、中央最小径は15mm(右)、14mm(左)で、骨体断面示数は71.43(右)、66.67(左)となり、両側とも扁平性が認められるが、その程度は左側の方が著しく強い。

2. 桡骨

両側とも完全である。長径は短かく、骨体も細い。

3. 尺骨

右側は茎状突起のみを、左側は肘頭を欠失しているが、それ以外は完全に残存していた。長さは短かく、骨体は細い。しかし骨間縁は1号人骨と同様左右とも中央よりやや近位において突出しており、その傾向は右側の方が強い。

2) 下肢骨

下肢骨もすべての骨が残存していた。

1. 寛骨

左右とも腸骨粗面の一部を欠いている以外は完全である。大坐骨切痕の角度および恥骨下角は大きい。

2. 大腸骨

右側は外側顆を、右側は大腸骨頭の一部を欠いている以外は良く残存していた。長径は短かく、骨体も細いが、右側については粗線の発達は良好である。

最大長は385mm(右)、中央周は78mm(右)、75mm(左)である。骨体中央矢状径は25mm(右)、24mm(左)、横径は23mm(右、左)で、中央断面示数は108.70(右)、104.35(左)であるが、骨体の後方への発達は弱いもので、柱状形成というほどのものではない。また上骨体断面示数は75.86(右)、75.00(左)となり、骨体上部は扁平である。

3. 脛骨

右側は骨体近位の一部を、左側は内果を欠くほかは完全である。長さはやや長く、骨体は細い。ヒラメ筋線の発達は著しく悪いが、後面には第四稜が認められる。骨体中央断面型は両側ともヘリチカのIV型を呈している。

脛骨全長は317mm(右)、脛骨最大長は327mmで、最小周は65mm(右、左)、骨体周は73mm(右)、72mm(左)で、長厚示数は20.50(右)となり、あまり頑丈なものではないことがうかがえる。

中央最大径は27mm(右)、26mm(左)で、中央横径は20mm(右、左)で、中央断面示数は74.07(右)、76.92(左)となり、骨体中央部には扁平性は認められない。

4. 腓骨

左側は完全で、右側は骨体遠位部を欠失している。長さはやや短かく、骨体は著しく扁平である。

(3) 推定身長値

大腸骨、脛骨、上腕骨および腕骨のそれぞれ最大長から、Pearsonおよび藤井の式を用いて推定身長値を算出すると表24のとおりである。右大腿骨最大長からの推定値は、147.73cm(Pearson)、147.28cm(藤井)となり、低身長である。

(4) 性別・年齢

性別は、大坐骨切痕の角度や恥骨下角が大きいことおよび眉上弓の隆起が弱いことから

女性と考えられ、年齢は、縫合の一部が外板においても癒合していることや歯の咬耗度から、熟年と推定される。

57年5号墳3号人骨（男性・熟年）

(1) 頭蓋

ほぼ完全な頭蓋である。

1. 脳頭蓋

外後頭隆起の発達は弱く、乳様突起も小さいが、乳突上縁は良く発達している。縫合は三主縫合とも内板では癒合している。外板については冠状縫合は開離しているが、矢状縫合およびラムダ縫合はラムダ部分で癒合している。

頭蓋最大長は179mm、頭蓋最大幅は137mm、バジオン・プレグマ高は137mmで、頭蓋長幅示数は76.54、頭蓋長幅示数は76.54、頭蓋幅高示数は100.00となり、頭型としては、meso-, hypsi-, akrokran(中・高・尖頭)に属している。

頭蓋水平周長は516mm、横弧長は309mm、正中矢状弧長は377mmである。

2. 顔面頭蓋

眉上弓から眉間にかけて著しく隆起しているか、鼻骨の鼻根部での隆起は弱い。

頬骨弓幅は140mm、中顔幅は106mmで、幅径は広く、顔高は118mm、上顔高は64mmで、高径は低い。従ってコルマンの顔示数および上顔示数はそれぞれ8429、4571となり、ウィルヒョーの顔示数および上顔示数はそれぞれ11132、6038となり、顔面頭蓋は低、広顔の傾向が著しい。

眼高幅は45mm(右)、43mm(左)、眼窩高は34mm(右)、33mm(左)で、眼窩示数は75.55(右)、76.74(左)となり、右側はchamaekonch(低眼窩)、左側はmesokonch(中眼窩)に属している。

鼻幅は28mm、鼻高は48mmで、鼻示数は5833となり、hyperchamaerhin(過低鼻)に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が19mm、鼻根横弧長は23mmで、鼻示数は8261となり、また前頭突起水平傾斜角は93度で、鼻骨の隆起は著しく弱い。しかし鼻骨は途中からやや隆起し、また眉間の隆起も強いので、鼻根角は138度、鼻根陥凹示数は17.86となり、鼻根部はやや陥凹している。

全側面角は81度、鼻側面角は86度であるが、歯槽側面角は68度となり、歯槽性突

顎が認められる。

3. 下顎骨

右側の下顎角を欠いている以外は完全である。下顎枝は著しく幅広く、下顎切痕はやや深い。

4. 歯

歯も釘植しており、この残存歯を歯式で示すと次のとおりである。

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----------------|----------------|----------------|---|----------------|----------------|--|----------------|----------------|---|---|----------------|----------------|----------------|---|
| / | ⊗ | M ₁ | ○ | ⊗ | C | I ₁ | I ₁ | | ⊗ | I ₂ | C | ⊗ | P ₂ | M ₁ | × | / |
| ⊗ | ⊗ | ⊗ | P ₂ | P ₁ | C | I ₂ | ⊗ | | I ₁ | I ₂ | C | ⊗ | P ₂ | M ₁ | M ₂ | ⊗ |

咬耗度は Broca の 2 度である。

● : 遊離歯
 ⊗ : 歯槽閉鎖
 ○ : 歯槽閉存
 / : 不明

(2) 四肢骨

1) 上肢骨

すべての骨が残存していた。

1. 上腕骨

右側は完全であるが、左側は両端の一部を欠いている。長径は短かく、三角筋粗面の発達も悪い。

最大長は 292 mm (右)、骨体最小周は 61 mm (右) で、長厚示数は 20.89 となり、あまり頑丈なものではない。中央最大径は 22 mm (右、左)、中央最小周は 17 mm (右)、16 mm (左) で、骨体断面示数は 77.27 (右)、72.73 (左) となり、左側にはやや強い扁平性が認められる。

2. 桡骨

両側ともほぼ完全である。長さは短かく、骨体の諸径もあまり大きいものではない。

3. 尺骨

右側は完全であるが、左側は茎状突起と肘頭を欠いている。長径は短かく、骨体も大きいものではない。

2) 下肢骨

下肢骨もすべての骨が残存していた。

1. 寛骨

右側は腸骨粗面を、左側は腸骨稜と腸骨粗面とを欠いている以外は良く残存していた。大坐骨切痕の角度は小さく、恥骨下角も小さい。

2. 大腿骨

右側は遠位端を、左側は大転子と外側顆とを欠損していた。長さは短かく、粗線は著しく弱いものである。

最大長は398 mm (左)、骨体中央矢状径は25 mm (右、左)、横径は28 mm (右)、27 mm (左)で、骨体中央断面示数は8929 (右)、9259 (左)となり、骨体の内外両面は後方へ発達することなく、骨体の断面型は横広の楕円形を呈している。上骨体断面示数は6970 (右)となり、骨体上面は著しく扁平である。

3. 脛骨

右側は近端を、左側は両端を欠損している。長さは短かく、骨体は扁平である。

推定中央位での最大径は31 mm (右)、29 mm (左)、横径は20 mm (右、左)で、中央断面示数は6452 (右)、6897 (左)となり、両側とも platyknem (平脛) に属しており、骨体は著しく扁平である。骨体周は80 mm (右)、77 mm (左)、最小周は70 mm (右、左)である。

4. 腓骨

右側は近位端を欠損しており、左側は近位 $\frac{1}{3}$ が残存していた。骨体は扁平である。

(3) 推定身長値

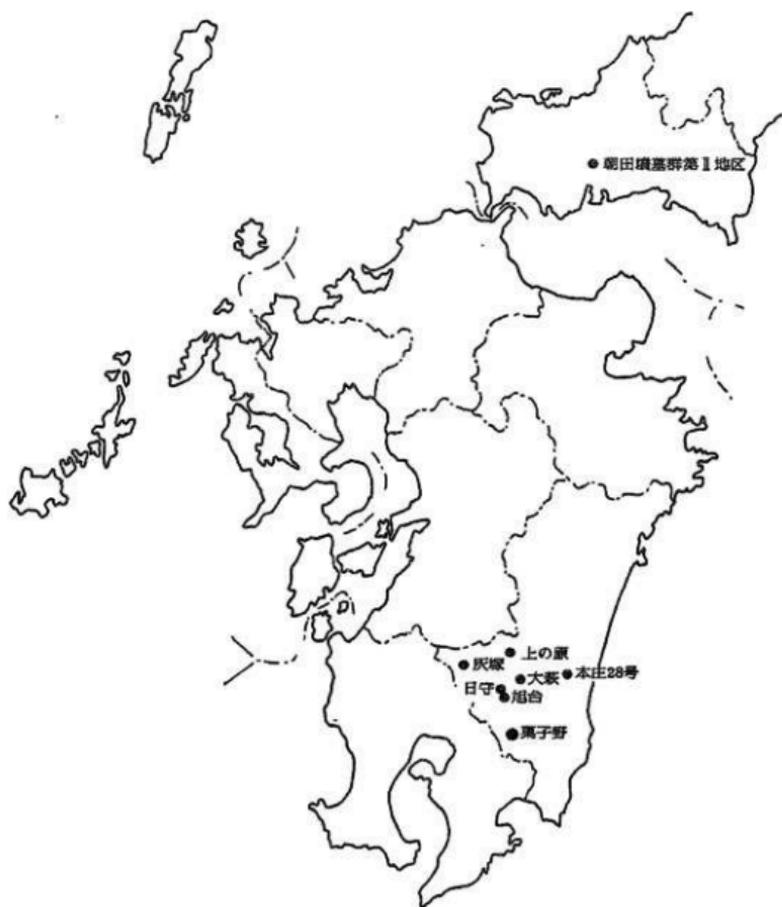
大腿骨、上腕骨および桡骨のそれぞれ最大長から Pearson および 藤井の式を用いて推定身長値を算出すると表24のとおりである。

左大腿骨最大長から算出すると、156.13 cm (Pearson)、153.06 cm (藤井) となり、著しく低身長である。

(4) 性別・年齢

性別は、大坐骨切痕の角度や恥骨下角が小さいことや眉上弓の隆起が強いことから、男性と考えられ、年齢は縫合が内板において癒合閉鎖していることから、熟年と推定される。

图 / 古墳時代人骨出土主要遺跡



考 察

菓子野地下式横穴墓群から出土した古墳人骨のうち、形質人類学の研究資料になり得たのは成人骨4体だけであったが、本例には従来の地下式古墳人とは異なる所見が認められたので、男性3例については平均値を算出し、従来の地下式古墳人、本庄28号古墳人および山口市の朝田古墳人との比較を行なった。

(1) 頭 蓋

1. 脳頭蓋

男性については、表3に示すとおり、3例の平均値は、頭蓋最大値が18233mm(3例)、頭蓋最大幅は13633mm(3例)、バジオン・ブレグマ高は13567mm(3例)となり、頭蓋長幅示数は7479(3例)、頭蓋長高示数は7443(3例)、頭蓋幅高示数は9951(3例)となり、頭型としては、dolicho-, ortho-, akrokran(長・中・尖頭)に属している。

頭蓋最大長は地下式古墳人および朝田古墳と大差ないが、最大幅が2群よりも小さく、従って頭蓋長幅示数は2群よりも小さく、頭型は長頭に属している。現在までに報告されている地下式古墳人のうち日守地下式古墳人(55年出土資料)を除く、大萩、上の原、および旭台地下式古墳人はいずれも短頭型を呈しており、長頭の確実な例はなく、本例が初めてである。またバジオン・ブレグマ高は朝田古墳人よりも大きく、従来の地下式古墳人と同様やや高い。

表3 脳頭蓋計測値(男性) (mm)

| | 菓子野地下式古墳人 | | 地下式古墳人 | | | 朝田横穴墓古墳人 | |
|----------------|-----------|-------|--------|-------|-------------|----------|-------|
| | n | M | n | M | max. - min. | n | M |
| 1. 頭蓋最大長 | 3 | 18233 | 6 | 18350 | 188 - 178 | 4 | 18300 |
| 8. 頭蓋最大幅 | 3 | 13633 | 5 | 14400 | 150 - 131 | 2 | 14300 |
| 17. バジオン・ブレグマ高 | 3 | 13567 | 9 | 13611 | 146 - 127 | 2 | 13000 |
| 8/1 頭蓋長幅示数 | 3 | 7479 | 1 | 8056 | | 2 | 7671 |
| 17/1 頭蓋長高示数 | 3 | 7443 | 5 | 7382 | 7892- 6882 | 2 | 7393 |
| 17/8 頭蓋幅高示数 | 3 | 9951 | 3 | 9342 | 9655- 8993 | 1 | 9225 |
| 23. 頭蓋水平周 | 3 | 51500 | 1 | 523 | | 1 | 525 |
| 24. 横 弧 長 | 2 | 30300 | 3 | 31500 | 321 - 308 | 1 | 306 |
| 25. 正中矢状弧長 | 2 | 37500 | 3 | 37233 | 380 - 362 | 2 | 35900 |

女性についても表4に示すとおり、頭蓋最大長は従来の地下式古墳人と大差ないが、最大幅は小さく、従って本例の頭型は中頭型に属し、従来の地下式古墳人よりも長頭へ傾いている。バジオン・ブレグマ高は従来の地下式古墳人よりも大きい。

以上のように、本例は男女とも従来の地下式古墳人よりも長頭へ傾いており、このことは本例の最大の特徴である。

表4 脳頭蓋計測値(女性) (mm)

| | 葉野地下式古墳人 | | 地下式古墳人 | | | 朝田横穴墓古墳人 | |
|----------------|----------|-------|--------|--------|--------------|----------|--------|
| | n | M | n | M | max, -min | n | M |
| 1. 頭蓋最大長 | 1 | 176 | 5 | 176.80 | 184 -171 | 6 | 172.50 |
| 8. 頭蓋最大幅 | 1 | 135 | 3 | 140.00 | 140 -140 | 3 | 134.67 |
| 17. バジオン・ブレグマ高 | 1 | 132 | 5 | 130.80 | 139 -127 | 5 | 131.20 |
| 8/1 頭蓋長幅示数 | 1 | 76.70 | | - | | 2 | 78.04 |
| 17/1 頭蓋長高示数 | 1 | 75.00 | 3 | 73.57 | 74.27- 72.57 | 4 | 75.57 |
| 17/8 頭蓋幅高示数 | 1 | 97.78 | | - | | 3 | 97.27 |
| 23. 頭蓋水平周 | 1 | 504 | | - | | 1 | 508 |
| 24. 横弧長 | 1 | 306 | 3 | 301.67 | 304 -300 | 3 | 301.00 |
| 25. 正中矢状弧長 | 1 | 367 | 3 | 357.00 | 360 -352 | 2 | 357.00 |

2. 顔面頭蓋

男性3例の平均値は表5に示すとおり、頬骨弓幅は140mm(1例)、中顔幅は102.67mm(3例)、顔高は115.50mm(2例)、上顔高は64mm(2例)で、顔面の幅径は大きく、これは従来の地下式古墳人および朝田古墳人と大差ない。また顔面の高径は著しく低く、その平均値は朝田古墳人よりも小さく、従来の地下式古墳人と大差ないものである。従って顔示数および上顔示数はともに朝田古墳人よりも小さく、地下式古墳人のそれに一致している。

従来の宮崎県下の地下式古墳人の顔面頭蓋は朝田古墳人よりも低頭であるが、国富町の本庄28号墳地下式古墳人は明らかに高顔傾向を示しており、従来の地下式古墳人とは異なる形質が認められた。本例はこの本庄28号墳地下式古墳人とは異なり、従来の地下式古墳人と同様、低・広顔の傾向が著しい古墳人である。

また眼窩および鼻部の高径も著しく低く、低眼窩、低鼻の傾向が認められる。

表5 顔面頭蓋計測値 (男性)

(mm、度)

| | | 菓子野地下式 古墳人 | | 地下式 古墳人 | | | 本庄28号 古墳人 | | 朝田横穴墓 古墳人 | |
|-------|---------|---------------|--------|------------|--------|-----------------|--------------|-------|--------------|---------|
| | | n | M | n | M | max. - min. | n | M | n | M |
| 40. | 顔長 | 2 | 96.00 | 8 | 103.13 | 113 - 95 | - | | 3 | 93.33 |
| 45. | 頬骨弓幅 | 1 | 140 | 4 | 139.00 | 146 - 130 | - | | 1 | (140) |
| 46. | 中顔幅 | 3 | 102.67 | 9 | 101.11 | 108 - 98 | - | | 3 | 104.67 |
| 47. | 顔高 | 2 | 115.50 | 9 | 114.11 | 121 - 107 | - | | 3 | 118.00 |
| 48. | 上顔高 | 2 | 64.00 | 13 | 64.69 | 67 - 61 | 1 | 72 | 5 | 67.60 |
| 47/45 | 顔示数(K) | 1 | 84.29 | 2 | 82.16 | 82.31 - 82.01 | - | | 1 | (85.00) |
| 48/45 | 上顔示数(K) | 1 | 45.71 | 3 | 47.03 | 48.46 - 46.04 | - | | 1 | (48.57) |
| 47/46 | 顔示数(V) | 2 | 113.32 | 6 | 113.50 | 119.19 - 107.00 | - | | 2 | 115.86 |
| 48/46 | 上顔示数(V) | 2 | 62.85 | 7 | 63.59 | 66.67 - 59.88 | - | | 3 | 66.59 |
| 51. | 眼窩幅(左) | 3 | 42.57 | 11 | 43.18 | 46 - 41 | 1 | 44 | 3 | 45.67 |
| 52. | 眼窩高(左) | 3 | 33.00 | 16 | 32.75 | 35 - 30 | 1 | 35 | 3 | 36.67 |
| 52/51 | 眼窩示数(左) | 3 | 77.35 | 11 | 76.70 | 82.93 - 71.11 | 1 | 79.55 | 3 | 80.41 |
| 54. | 鼻幅 | 3 | 27.00 | 18 | 27.78 | 31 - 21 | 1 | 25 | 4 | 27.25 |
| 55. | 鼻高 | 3 | 48.33 | 16 | 50.00 | 55 - 45 | 1 | 53 | 5 | 52.40 |
| 54/55 | 鼻示数 | 3 | 55.84 | 15 | 56.14 | 66.22 - 48.08 | 1 | 47.17 | 4 | 51.44 |
| 74. | 齒槽側面角 | 2 | 71.50 | 11 | 73.55 | 86 - 64 | 1 | 64 | 5 | 69.40 |

次に鼻根部について検討してみると、表6のとおり、鼻根部はあまり広いものではなく、鼻骨の隆起もやや強く、眉間の隆起も強いので、鼻根部は本庄28号墳地下式古墳人や朝田古墳人のようには広くて扁平なものではなく、むしろやや陥凹が認められるものである。しかし鼻骨の隆起は縄文人のように鼻根部から隆起するものではなく、途中からおきているので、鼻骨は鼻根部では扁平である。

齒槽側面角は71.50度(2例)で、齒槽性突顎傾向が認められるが、その程度は朝田古墳人程強いものではない。

表6 鼻根部計測値 (男性) (mm, 度)

| | 菓子野地下式 古墳人 | | 地下式 古墳人 | | 本庄28号 古墳人 | | 朝田横穴墓 古墳人 | |
|-------------------|---------------|--------|------------|--------|--------------|-------|--------------|--------|
| | n | M | n | M | n | M | n | M |
| 前眼窩間幅 | 3 | 18.67 | 13 | 20.00 | 1 | 17 | 5 | 19.60 |
| 鼻根横弧長 | 3 | 22.67 | 11 | 23.73 | 1 | 19 | 5 | 22.00 |
| 鼻根彎曲示数 | 3 | 82.35 | 11 | 82.88 | 1 | 89.47 | 5 | 88.98 |
| 鼻骨最小幅 | 3 | 9.00 | 12 | 10.58 | 1 | 8 | 5 | 8.80 |
| 前頭突起上幅(右) | 3 | 9.33 | 11 | 10.36 | 1 | 9 | 5 | 9.60 |
| (左) | 3 | 8.67 | 10 | 9.80 | 1 | 8 | 5 | 9.60 |
| 前頭突起水平傾斜角 | 2 | 83.50 | 7 | 78.14 | - | - | 4 | 113.75 |
| グラベラ・ナジオン 投影距離 | 2 | 3.00 | 8 | 1.88 | - | - | 1 | 2 |
| 鼻根角 | 3 | 134.00 | 8 | 138.88 | - | - | 4 | 144.75 |
| 鼻根陥凹示数 | 3 | 18.65 | 8 | 18.08 | - | - | 4 | 13.08 |

一方女性では表7に示すとおりで、顔面の幅径は小さく、従来の地下式古墳人よりも小さい。高径も低く、地下式古墳人と大差ない。顔示数は2群よりも大きい。上顔示数は2群と大差なく、女性の顔面頭蓋も男性と同じように低顔の傾向が著しい。

眼窩および鼻部についてもその高径は著しく低く、低眼窩、低鼻の傾向が強い。

表7 顔面頭蓋計測値 (女性) (mm, 度)

| | 菓子野地下式 古墳人 | | 地下式 古墳人 | | 朝田横穴墓 古墳人 | | | |
|---------------|---------------|--------|------------|--------|---------------|-------|---|----------|
| | n | M | n | M | max. | -min. | | |
| 40. 顔長 | 1 | 100 | 4 | 98.25 | 103 | -94 | 4 | 100.00 |
| 45. 頬骨弓幅 | 1 | 129 | 1 | 134 | - | - | - | - |
| 46. 中顔幅 | 1 | 96 | 4 | 100.50 | 109 | -91 | 3 | 100.00 |
| 47. 顔高 | 1 | 110 | 7 | 109.00 | 112 | -106 | 5 | 106.40 |
| 48. 上顔高 | 1 | 61 | 6 | 61.67 | 64 | -59 | 7 | 60.57 |
| 47/45 顔示数(K) | 1 | 85.27 | 1 | 81.34 | - | - | - | - |
| 48/45 上顔示数(K) | 1 | 47.29 | 1 | 47.76 | - | - | - | - |
| 47/46 顔示数(V) | 1 | 114.58 | 3 | 104.96 | 109.00-160.00 | - | 3 | 105.91 |
| 48/46 上顔示数(V) | 1 | 63.54 | 3 | 60.50 | 62.00-58.72 | - | 3 | 62.50 |
| 51. 眼窩幅(右) | 1 | 42 | 7 | 41.57 | 43 | -38 | 6 | 42.00(右) |
| 52. 眼窩高(右) | 1 | 31 | 5 | 32.00 | 34 | -31 | 7 | 32.57(右) |
| 52/51 眼窩示数(右) | 1 | 73.81 | 5 | 77.91 | 85.00-72.09 | - | 6 | 77.03(右) |
| 54. 鼻幅 | 1 | 26 | 9 | 26.22 | 29 | -24 | 7 | 26.43 |
| 55. 鼻高 | 1 | 44 | 8 | 46.63 | 53 | -44 | 7 | 46.86 |
| 54/55 鼻示数 | 1 | 59.09 | 6 | 55.77 | 60.00-50.94 | - | 7 | 56.32 |
| 74. 齒槽側面角 | 1 | 72 | 6 | 65.00 | 75 | -58 | 6 | 62.50 |

また鼻根部については表8に示すとおり、その幅は狭く、扁平ではあるが、鼻骨は途中から隆起しているため、鼻根角は小さく、鼻根陥凹示数は大きい。

歯槽側面角はやや小さく歯槽性突顎傾向が認められるが、その程度は朝田古墳人程強いものではない。

表8 鼻根部計測値 (女性) (mm、度)

| | 葦子野地下式 古墳人 | | 地下式 古墳人 | | 朝田横穴墓 古墳人 | |
|-------------------|---------------|-------|------------|--------|--------------|--------|
| | n | M | n | M | n | M |
| 前眼窩間幅 | 1 | 18 | 9 | 19.78 | 7 | 17.29 |
| 鼻根横弧長 | 1 | 20 | 8 | 24.13 | 7 | 20.57 |
| 鼻根彎曲示数 | 1 | 90.00 | 8 | 83.76 | 7 | 85.35 |
| 鼻骨最小幅 | 1 | 7 | 8 | 10.13 | 7 | 8.14 |
| 前頭突起上幅 (右) | 1 | 10 | 8 | 10.00 | 7 | 9.57 |
| 左 | 1 | 10 | 9 | 10.33 | 7 | 9.14 |
| 前頭突起水平傾斜角 | 1 | 71 | 5 | 76.80 | 6 | 101.50 |
| グラベラ・ナジオン 投影距離 | 1 | 4 | 7 | 1.86 | 6 | 1.00 |
| 鼻根角 | 1 | 138 | 5 | 147.60 | 6 | 153.83 |
| 鼻根陥凹示数 | 1 | 16.67 | 5 | 12.54 | 6 | 11.42 |

(2) 四肢骨および推定身長値

地下式横穴から出土する人骨では、頭蓋の保存状態の割りには一般的に四肢骨の保存状態が著しく悪いが、本例は比較的保存状態が良かった。男女とも四肢骨は上・下肢共通して、長径が著しく短かく、骨体も細いものであり、筋付着部の発達もあまり良いものではなかった。しかし扁平性や大腿骨骨体の後方への発達程度には各個体間に大きな差が認められ、変異が大きいようで、これも本古墳人の特徴の1つである。

表9 四肢骨比

| | 男 | | 性 | | 女 性 |
|---------|--------|---|--------|-------|--------|
| | 55-1-1 | | 57-5-3 | | 57-5-2 |
| | | 右 | 右 | 左 | 右 |
| 桡骨/上腕骨 | - | | 76.03 | - | 81.06 |
| 桡骨/大腿骨 | 54.83 | | - | 55.53 | 55.58 |
| 上腕骨/大腿骨 | - | | - | - | 68.57 |
| 脛骨/大腿骨 | - | | | | 84.94 |

また各四肢骨の最大長の比は表9に示すとおりで、女性は上腕骨の長さの割りには前腕の骨が長いようである。

推定身長値については、男性では右大腿骨最大長から算出すれば表10のとおり、153.31 cm (Pearson, 1例)で低く、また左大腿骨から算出しても156.13 cm (Pearson, 1例)となり、従来地下式古墳人および朝田古墳人よりも低い。女性では表11に示すとおり、右大腿骨から算出すると147.73 cm (Pearson, 1例)で、従来の地下式古墳人よりも大きく、朝田古墳人の平均値と一致し、低身長である。

| | 菓子野地下式古墳人 | | 地下式古墳人 | | 朝田横穴墓古墳人 | |
|------|-----------|-----------|-----------|--------|----------|--------|
| | 55-1-1 | 57-5-3 | n | M | n | M |
| | Pearsonの式 | 153.31(右) | 156.13(右) | 1 | 160.27 | 2 |
| 藤井の式 | 149.50(右) | 153.06(右) | 1 | 158.64 | 2 | 156.18 |

| | 菓子野地下式古墳人 | 地下式古墳人 | | 朝田横穴墓古墳人 | |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 57-5-2 | n | M | n | M |
| | Pearsonの式 | 147.73(左) | 1 | 145.78(右) | 2 |
| 藤井の式 | 147.28(左) | 1 | 145.22(右) | 2 | 147.78(右) |

総 括

宮崎県都城市菓子野町にある菓子野地下式横穴(古墳)から、昭和55年に1体、昭和57年に12体、合計13体の人骨が出土したが、そのうちの8体は既に破壊されており、形質人類学の研究資料として使えるものではなかった。残りの5体のうち1体は小児(I期)骨で、あとの4体は保存状態がきわめて良好な古墳時代(後期)人骨であった。その成人骨について計測ならびに人類学的観察を行なった結果は次のように要約することができる。

1. 保存良好な4体の成人骨のうち3体が男性骨で、残りの1体は女性骨であった。
2. 男性の頭蓋最大長は182.33 mm (3例)、頭蓋最大幅は136.33 mm (3例)、バジオン・ブレグマ高は135.67 mm (3例)で、頭型は長・中・尖頭に属している。
3. 女性の頭蓋最大長は176 mm (1例)、頭蓋最大幅は135 mm (1例)、バジオン・ブレ

グマ高は132mmで、頭蓋長幅示数は76.70（1例）、頭蓋長高示数は75.00（1例）、頭蓋幅高示数は97.78となり、頭型は中・高・中頭に属している。

4. 男性の顔面頭蓋の幅径は、頬骨弓幅が140mm（1例）、中顔幅は102.67mm（3例）、高径は、顔高が115.50mm（2例）、上顔高は64.00mm（2例）で、顔示数は8429（K、1例）、113.32（V、2例）、上顔示数は45.71（K、1例）、62.85（V、2例）で、低・広顔の傾向が著しい。

5. 女性の顔面頭蓋の幅径は、頬骨弓幅が129mm（1例）、中顔幅は96mm（1例）、高径は顔高が110mm（1例）、上顔高は61mm（1例）で、顔示数は85.27（K、1例）、114.58（V、1例）、上顔示数は47.29（K、1例）、63.54（V、1例）となり、低顔である。

6. 眼窩および鼻部の高径は、男女とも低い。

7. 男女とも歯槽性突顎の傾向が認められる。

8. 四肢骨の長径は男女とも短かく、一般的に骨体は細く、筋付着部の発達は悪いものである。しかし上腕骨および脛骨の扁平性は著しく強い例もあり、また大腿骨の骨体はやや後方へ発達しているのと同様でないものが混在しており、多少変異が大きい。

9. 右大腿骨最大長からの推定身長値は、男性が153.31cm（Pearson、1例）、女性は147.73cm（Pearson、1例）で、男女とも低身長である。

10. 以上の様に、本例の顔面頭蓋には低・広顔の傾向が認められ、顔面頭蓋については従来報告されている地下式古墳人の特徴と一致するものであったが、頭型は従来の地下式古墳人とは異なり、明らかに長頭へ傾いたものであり、また低身長であった。

地下式古墳人骨の出土例の増加に伴ない、宮崎県下においても多少の地理的変異の存在を示唆する資料も認められるようになってきた。今後も地下式古墳人の全体像を解明するために資料の収集と研究を続けていきたい。

< 撰筆するにあたり、本研究の機会を与えていただいた都城市教育委員会、宮崎県教育庁文化課ならびに人骨研究についてご指導いただいた内藤芳篤教授に感謝いたします。 >

表12 脳頭蓋計測値

(mm)

| | | 男 性 | | | | 女 性 | |
|------|-------------|--------|--------|--------|-----|--------|-------|
| | | 55-1-1 | 57-5-1 | 57-5-3 | 平 均 | 57-5-2 | |
| | | | | n | M | | |
| 1. | 頭蓋最大長 | 184 | 184 | 179 | 3 | 182.33 | 176 |
| 8. | 頭蓋最大幅 | 135 | 137 | 137 | 3 | 136.33 | 135 |
| 17. | バジオン・プレグマ高 | 133 | 137 | 137 | 3 | 135.67 | 132 |
| 8/1 | 頭蓋長幅示数 | 73.37 | 74.46 | 76.54 | 3 | 74.79 | 76.70 |
| 17/1 | 頭蓋長高示数 | 72.28 | 74.46 | 76.54 | 3 | 74.43 | 75.00 |
| 17/8 | 頭蓋幅高示数 | 98.52 | 100.00 | 100.00 | 3 | 99.51 | 97.78 |
| 9. | 最小前頭幅 | 89 | 91 | 96 | 3 | 92.00 | 96 |
| 10. | 最大前頭幅 | 114 | 114 | 115 | 3 | 114.33 | 116 |
| 5. | 頭蓋底長 | 103 | 100 | 98 | 3 | 100.33 | 98 |
| 11. | 両耳幅 | 123 | - | 126 | 2 | 124.50 | 119 |
| 12. | 最大後頭幅 | 111 | - | 118 | 2 | 114.50 | - |
| 13. | 乳突幅 | - | - | - | - | - | - |
| 7. | 大後頭孔長 | 32 | - | 34 | 2 | 33.00 | 32 |
| 16. | 大後頭孔幅 | 28 | - | 28 | 2 | 28.00 | 28 |
| 16/7 | 大後頭孔示数 | 87.50 | - | 82.35 | 2 | 84.93 | 87.50 |
| 23. | 頭蓋水平周 | 512 | 517 | 516 | 3 | 515.00 | 504 |
| 24. | 横弧長 | 297 | - | 309 | 2 | 303.00 | 306 |
| 25. | 正中矢状弧長 | 373 | - | 377 | 2 | 375.00 | 367 |
| | Vertex Rad | 120 | - | 124 | 2 | 122.00 | 122 |
| | Nasion Rad | 92 | - | 92 | 2 | 92.00 | 93 |
| | Subsp. Rad | 91 | - | 90 | 2 | 90.50 | 92 |
| | Prosth. Rad | - | - | 98 | 1 | 98 | 99 |

表13 顏面頭蓋計測值

(mm, 度)

| | 男 性 | | | | 女 性 | |
|-------------------|--------|--------|--------|-----|--------|--------|
| | 55-1-1 | 57-5-1 | 57-5-3 | 平 均 | 57-5-2 | |
| | | | | n | M | |
| 40. 顏 長 | - | 99 | 93 | 2 | 96.00 | 100 |
| 41. 側 顏 長 | 69 | 66 | 71 | 3 | 68.67 | 70 |
| 42. 下 顏 長 | - | 102 | 103 | 2 | 102.50 | 108 |
| 43. 上 顏 幅 | 108 | 105 | 109 | 3 | 107.33 | 104 |
| 45. 頰骨弓幅 | - | - | 140 | 1 | 140 | 129 |
| 46. 中 顏 幅 | 104 | 98 | 106 | 3 | 102.67 | 96 |
| 47. 顏 高 | - | 113 | 118 | 2 | 115.50 | 110 |
| 48. 上 顏 高 | - | 64 | 64 | 2 | 64.00 | 61 |
| 47/45 顏 示 數(K) | - | - | 84.29 | 1 | 84.29 | 85.27 |
| 48/45 上 顏 示 數(K) | - | - | 45.71 | 1 | 45.71 | 47.29 |
| 47/46 顏 示 數(V) | - | 115.31 | 111.32 | 2 | 113.32 | 114.58 |
| 48/46 上 顏 示 數(V) | - | 65.31 | 60.38 | 2 | 62.85 | 63.54 |
| 50. 前 眼 窩 間 幅 | 19 | 18 | 19 | 3 | 18.67 | 18 |
| 44. 兩 眼 窩 幅 | 99 | 97 | 103 | 3 | 99.67 | 96 |
| 50/44 眼 窩 間 示 數 | 19.19 | 18.56 | 18.45 | 3 | 18.73 | 18.75 |
| 51. 眼 窩 幅 右 | 44 | 42 | 45 | 3 | 43.67 | 43 |
| 左 | 43 | 42 | 43 | 3 | 42.67 | 42 |
| 52. 眼 窩 高 右 | 32 | 33 | 34 | 3 | 33.00 | 30 |
| 左 | 33 | 33 | 33 | 3 | 33.00 | 31 |
| 52/51 眼 窩 示 數 右 | 7.273 | 78.57 | 75.55 | 3 | 75.62 | 69.77 |
| 左 | 7.674 | 78.57 | 7.674 | 3 | 77.35 | 73.81 |
| 54. 鼻 幅 | 25 | 28 | 28 | 3 | 27.00 | 26 |
| 55. 鼻 高 | 47 | 50 | 48 | 3 | 48.33 | 44 |
| 54/55 鼻 示 數 | 53.19 | 56.00 | 58.33 | 3 | 55.84 | 59.09 |
| 57. 鼻 骨 最 小 偏 | 12 | 7 | 8 | 3 | 9.00 | 7 |
| 57 (1) 鼻 骨 最 大 偏 | 19 | 17 | 18 | 3 | 18.00 | 17 |
| 60. 上 顎 齒 槽 長 | - | - | 53 | 1 | 53 | 53 |
| 61. 上 顎 齒 槽 幅 | - | - | 61 | 1 | 61 | 58 |
| 61/60 上 顎 齒 槽 示 數 | - | - | 115.09 | 1 | 115.09 | 109.43 |
| 72. 全 側 面 角 | - | 83 | 81 | 2 | 82.00 | 83 |
| 73. 鼻 側 面 角 | 86 | 85 | 86 | 3 | 85.67 | 87 |
| 74. 齒 槽 側 面 角 | - | 75 | 68 | 2 | 71.50 | 72 |

表14 鼻根部計測値

(mm、度)

| | 男 性 | | | | 女 性 | |
|---------------|--------|--------|--------|-----|--------|-------|
| | 55-1-1 | 57-5-1 | 57-5-3 | 平 均 | 57-5-2 | |
| | | | | n | M | |
| 前眼窩間幅 | 19 | 18 | 19 | 3 | 18.67 | 18 |
| 鼻根横弧長 | 23 | 22 | 23 | 3 | 22.67 | 20 |
| 鼻根彎曲示数 | 82.61 | 81.82 | 82.61 | 3 | 82.35 | 90.00 |
| 鼻骨最小幅 | 12 | 7 | 8 | 3 | 9.00 | 7 |
| 前頭突起上幅 (白) | 7 | 10 | 11 | 3 | 9.33 | 10 |
| (白) | 8 | 8 | 10 | 3 | 8.67 | 10 |
| 前頭突起水平傾斜角 | 74 | - | 93 | 2 | 83.50 | 71 |
| グラベラ・ナジオン投影距離 | 2 | - | 4 | 2 | 3.00 | 4 |
| 鼻 根 角 | 128 | 136 | 138 | 3 | 134.00 | 138 |
| 鼻根陷凹示数 | 17.39 | 20.69 | 17.86 | 3 | 18.65 | 16.67 |

表15 下顎骨計測値

(mm, 度)

| | | 男 性 | | | 平 均 | | 女 性 |
|-------------|----------------------|--------|--------|--------|-----|--------|--------|
| | | 55-1-1 | 57-5-1 | 57-5-3 | n | M | 57-5-2 |
| | | | | | | | |
| 65. | 下顎関節突起幅 | 118 | - | 129 | 2 | 123.50 | 119 |
| 65(1) | 下顎筋突起幅 | 89 | - | 101 | 2 | 95.00 | 98 |
| 66. | 下顎角幅 | - | - | - | - | - | - |
| 68. | 下顎長 | - | - | - | - | - | - |
| 69. | オトガイ高 | - | 31 | 29 | 2 | 30.00 | 30 |
| 69(1). | 下顎体高 _右 | 31 | - | 28 | 2 | 29.50 | 31 |
| | 左 | - | - | 27 | 1 | 27 | 31 |
| 69(2). | 下顎体高 _右 | - | - | - | - | - | 28 |
| | 左 | - | 28 | 27 | 2 | 27.50 | 28 |
| 69(3). | 下顎体厚 _右 | 13 | - | 11 | 2 | 12.00 | 10 |
| | 左 | 13 | 13 | 12 | 3 | 12.67 | 11 |
| 70. | 枝高 _右 | - | - | - | - | - | 55 |
| | 左 | 59 | - | 65 | 2 | 62.00 | - |
| 70(3). | 下顎切痕高 _右 | 12 | - | 15 | 2 | 13.50 | 12 |
| | 左 | 10 | 12 | 16 | 3 | 12.67 | 11 |
| 71. | 枝幅 _右 | - | - | - | - | - | 33 |
| | 左 | 37 | - | 38 | 2 | 37.50 | 34 |
| 71 a. | 最小枝幅 _右 | - | - | - | - | - | 33 |
| | 左 | 37 | - | 38 | 2 | 37.50 | 34 |
| 71(1). | 下顎切痕幅 _右 | 44 | - | 38 | 2 | 41.00 | 38 |
| | 左 | 46 | 36 | 37 | 3 | 39.67 | 38 |
| 79. | 下顎枝角 _右 | - | - | - | - | - | 130 |
| | 左 | 112 | - | 109 | 2 | 110.50 | - |
| 68/65 | 幅長示数 | - | - | - | - | - | - |
| 69(2)/69 | 下顎高示数 _右 | - | - | - | - | - | 93.33 |
| | 左 | - | 90.32 | 93.10 | 2 | 91.71 | 93.33 |
| 71/70 | 下顎枝示数 _右 | - | - | - | - | - | 60.00 |
| | 左 | 62.71 | - | 58.46 | 2 | 60.59 | - |
| 69(3)/69(1) | 下顎体高厚示数 _右 | 41.94 | - | 39.29 | 2 | 40.62 | 32.26 |
| | 左 | - | - | 44.44 | 1 | 44.44 | 35.48 |
| 66/65 | 下顎幅示数 | - | - | - | - | - | - |
| 70(3)/71(1) | 下顎切痕示数 _右 | 27.27 | - | 39.47 | 2 | 33.37 | 31.58 |
| | 左 | 21.74 | 33.33 | 43.24 | 3 | 32.77 | 28.95 |

表16 鎖骨計測值

(mm)

| | | 男 性 | | | | 平 均 n M | 女 性 57-5-2 |
|-------|--------|--------|--------|--------|---|------------|---------------|
| | | 55-1-1 | 57-5-1 | 57-5-3 | | | |
| | | | | | | | |
| 1. | 鎖骨最大長 | - | - | - | - | - | - |
| | 的 | 131 | - | - | 1 | 131 | - |
| 2a. | 骨體彎曲高 | - | - | 29 | 1 | 29 | 26 |
| | 的 | 32 | - | 29 | 1 | 30.50 | 25 |
| 2(l). | 肩峰端彎曲高 | - | - | - | - | - | - |
| | 的 | - | - | - | - | - | - |
| 4. | 中央垂直徑 | 9 | - | 10 | 2 | 9.50 | 8 |
| | 的 | 10 | 10 | 10 | 3 | 10.00 | 9 |
| 5. | 中央矢狀徑 | 11 | - | 12 | 2 | 11.50 | 10 |
| | 的 | 12 | 10 | 12 | 3 | 11.33 | 10 |
| 6. | 中央周 | 35 | - | 39 | 2 | 37.00 | 31 |
| | 的 | 37 | 33 | 37 | 3 | 35.67 | 33 |
| 6/1 | 長厚示數 | - | - | - | - | - | - |
| | 的 | 28.24 | - | - | 1 | 28.24 | - |
| 2a/1 | 彎曲示數 | - | - | - | - | - | - |
| | 的 | 24.43 | - | - | 1 | 24.43 | - |
| 4/5 | 鎖骨斷面示數 | 81.82 | - | 83.33 | 2 | 82.58 | 80.00 |
| | 的 | 83.33 | 90.00 | 83.33 | 3 | 85.55 | 90.00 |

表17 上腕骨計測值

(mm)

| | | 男 性 | | 平 均 n M | 女 性 57-5-2 | |
|------|--------|--------|--------|------------|---------------|-------|
| | | 55-1-1 | 57-5-3 | | | |
| | | | | | | |
| 1. | 上腕骨最大長 | - | 292 | 1 | 292 | 264 |
| | 的 | - | - | - | - | - |
| 2. | 上腕骨全長 | - | 288 | 1 | 288 | 259 |
| | 的 | - | - | - | - | - |
| 5. | 中央最大徑 | 21 | 22 | 2 | 21.50 | 21 |
| | 的 | 21 | 22 | 2 | 21.50 | 21 |
| 6. | 中央最小徑 | 16 | 17 | 2 | 16.50 | 15 |
| | 的 | 16 | 16 | 2 | 16.00 | 14 |
| 7. | 骨體最小周 | 56 | 61 | 2 | 58.50 | 55 |
| | 的 | 58 | - | 1 | 58 | 55 |
| 7(a) | 中央周 | 61 | 66 | 2 | 63.50 | 61 |
| | 的 | 63 | - | 1 | 63 | 61 |
| 6/5 | 骨體斷面示數 | 76.19 | 77.27 | 2 | 76.73 | 71.43 |
| | 的 | 76.19 | 72.73 | 2 | 74.46 | 66.67 |
| 7/1 | 長厚示數 | - | 20.89 | 1 | 20.89 | 20.83 |
| | 的 | - | - | - | - | - |

表 18 腕 骨 計 測 值

(mm)

| | | 男 性 | | | | 女 性 | |
|-------|--------------|--------|--------|--------|-----|--------|-------|
| | | 55-1-1 | 57-5-1 | 57-5-3 | 平 均 | 57-5-2 | |
| | | | | | n | M | |
| 1. | 最 大 長径 | 210 | - | 222 | 2 | 216.00 | 214 |
| | 径 | - | 221 | 221 | 2 | 221.00 | 215 |
| 1b. | 平 行 長径 | 208 | - | 220 | 2 | 214.00 | - |
| | 径 | - | 217 | - | 1 | 217 | 212 |
| 2. | 機 能 長径 | 194 | 204 | 208 | 3 | 202.00 | 201 |
| | 径 | - | 205 | - | 1 | 205 | 202 |
| 3. | 最 小 周径 | 42 | 40 | 40 | 3 | 40.67 | 36 |
| | 径 | 41 | 39 | 39 | 3 | 39.67 | 35 |
| 4. | 骨 体 横 径径 | 17 | 17 | 15 | 3 | 16.33 | 14 |
| | 径 | 15 | 16 | 14 | 3 | 15.00 | 14 |
| 4a. | 骨体中央横 径径 | 16 | 17 | 15 | 3 | 16.00 | 14 |
| | 径 | 15 | 16 | 14 | 3 | 15.00 | 14 |
| 5. | 骨 体 矢 状 径径 | 11 | 12 | 12 | 3 | 11.67 | 10 |
| | 径 | 12 | 11 | 12 | 3 | 11.67 | 10 |
| 5a. | 骨体中央矢状径径 | 11 | 11 | 12 | 3 | 11.33 | 9 |
| | 径 | 12 | 11 | 12 | 3 | 11.67 | 10 |
| 5(5) | 骨 体 中 央 周径 | 44 | 45 | 42 | 3 | 43.67 | 38 |
| | 径 | 43 | 43 | 42 | 3 | 42.67 | 39 |
| 3/2 | 長 厚 示 数径 | 21.65 | - | 19.23 | 2 | 20.44 | 17.91 |
| | 径 | - | 19.02 | - | 1 | 19.23 | 17.33 |
| 5/4 | 骨 体 断 面 示 数径 | 64.71 | 70.59 | 80.00 | 3 | 71.77 | 71.43 |
| | 径 | 80.00 | 68.75 | 85.71 | 3 | 78.15 | 71.43 |
| 5a/4a | 中 央 断 面 示 数径 | 68.75 | 64.71 | 80.00 | 3 | 71.15 | 64.29 |
| | 径 | 80.00 | 68.75 | 85.71 | 3 | 78.15 | 71.43 |

表19 尺骨計測値

(mm)

| | 男 性 | | | | | | 女 性 |
|---------------|--------|--------|--------|-----|--------|--------|-----|
| | 55-1-1 | 57-5-1 | 57-5-3 | 平 均 | | 57-5-2 | |
| | | | | n | M | | |
| 1. 最 大 長 径 | - | - | 236 | 1 | 236 | - | |
| 径 | - | - | - | | - | - | |
| 2. 機 能 長 径 | - | 209 | 208 | 2 | 208.50 | 203 | |
| 径 | 198 | 209 | 209 | 3 | 205.33 | 204 | |
| 3. 最 小 周 径 | 36 | 33 | 32 | 3 | 33.67 | 32 | |
| 径 | 35 | 33 | 31 | 3 | 33.00 | 31 | |
| 11. 尺骨矢状径 | - | 12 | 12 | 2 | 12.00 | 12 | |
| 径 | 13 | 12 | 12 | 3 | 12.33 | 12 | |
| 12. 尺骨横径 | - | 17 | 15 | 2 | 16.00 | 15 | |
| 径 | 17 | 15 | 16 | 3 | 16.00 | 14 | |
| S 中央最小径 | - | 11 | 12 | 2 | 11.50 | 11 | |
| 径 | 12 | 11 | 12 | 3 | 11.67 | 11 | |
| L 中央最大径 | - | 17 | 16 | 2 | 16.50 | 16 | |
| 径 | 16 | 16 | 16 | 3 | 16.00 | 14 | |
| C 中 央 周 径 | - | 48 | 45 | 2 | 46.50 | 45 | |
| 径 | 47 | 46 | 46 | 3 | 46.33 | 42 | |
| 3/2 長 厚 示 数 径 | - | 15.79 | 15.38 | 2 | 15.59 | 15.76 | |
| 径 | 17.68 | 15.79 | 14.83 | 3 | 16.10 | 15.20 | |
| 11/12 骨体断面示数径 | - | 70.59 | 80.00 | 2 | 75.30 | 80.00 | |
| 径 | 76.47 | 80.00 | 75.00 | 3 | 77.16 | 85.71 | |
| S/L 中央断面示数径 | - | 64.71 | 75.00 | 2 | 69.86 | 68.75 | |
| 径 | 75.00 | 68.75 | 75.00 | 3 | 72.92 | 78.57 | |

表20 大 腿 骨 計 測 值

(mm)

| | | 男 性 | | | | | 女 性 | |
|---------------------|---|--------|--------|--------|-----|--------|--------|--|
| | | 55-1-1 | 57-5-1 | 57-5-3 | 平 均 | 57-5-2 | | |
| | | | | | n | M | | |
| 1. 最 大 長 径 | 右 | 383 | - | - | 1 | 383 | 385 | |
| | 左 | - | - | 398 | 1 | 398 | - | |
| 2. 自 然 位 全 長 | 右 | - | - | - | - | - | - | |
| | 左 | - | - | - | - | - | - | |
| 6. 骨 体 中 央 矢 状 径 | 右 | 29 | - | 25 | 2 | 27.00 | 25 | |
| | 左 | 28 | 23 | 25 | 3 | 25.33 | 24 | |
| 7. 骨 体 中 央 横 径 | 右 | 24 | - | 28 | 2 | 26.00 | 23 | |
| | 左 | 24 | 26 | 27 | 3 | 25.67 | 23 | |
| 8. 骨 体 中 央 周 径 | 右 | 86 | - | 84 | 2 | 85.00 | 78 | |
| | 左 | 84 | 78 | 81 | 3 | 81.00 | 75 | |
| 9. 骨 体 上 横 径 | 右 | 26 | - | 33 | 2 | 29.50 | 29 | |
| | 左 | 27 | 31 | - | 2 | 29.00 | 28 | |
| 10. 骨 体 上 矢 状 径 | 右 | 24 | - | 23 | 2 | 23.50 | 22 | |
| | 左 | 24 | 22 | - | 2 | 23.00 | 21 | |
| 8/2 長 厚 示 数 | 右 | - | - | - | - | - | - | |
| | 左 | - | - | - | - | - | - | |
| 6/7 骨 体 中 央 断 面 示 数 | 右 | 120.83 | - | 89.29 | 2 | 105.06 | 108.70 | |
| | 左 | 116.67 | 88.46 | 92.59 | 3 | 99.24 | 104.35 | |
| 10/9 上 骨 体 断 面 示 数 | 右 | 92.31 | - | 69.70 | 2 | 81.01 | 75.86 | |
| | 左 | 88.89 | 70.97 | - | 2 | 79.93 | 75.00 | |

表21 脛骨計測值

(mm)

| | | 男 性 | | | | 女 性 |
|-------|----------|--------|--------|-------|---------|--------|
| | | 55-1-1 | 57-5-3 | 平 均 | | 57-5-2 |
| | | | | n | M | |
| 1. | 脛骨全長 | 尙 | - | - | - | 317 |
| | | 尙 | - | - | - | - |
| 1a. | 脛骨最大長 | 尙 | - | - | - | 327 |
| | | 尙 | - | - | - | - |
| 1b. | 脛骨長 | 尙 | - | - | - | 321 |
| | | 尙 | - | - | - | - |
| 2. | 距長 | 尙 | 298 | - | 1 298 | 305 |
| | | 尙 | - | - | - | - |
| 8. | 中央最大徑 | 尙 | 30 | 31 | 2 305.0 | 27 |
| | | 尙 | 30 | 29 | 2 295.0 | 26 |
| 8a. | 栄養孔位最大徑 | 尙 | 33 | 35 | 2 34.00 | 30 |
| | | 尙 | 32 | 35 | 2 33.50 | 31 |
| 9. | 中央橫徑 | 尙 | 22 | 20 | 2 21.00 | 20 |
| | | 尙 | 22 | 20 | 2 21.00 | 20 |
| 9a. | 栄養孔位橫徑 | 尙 | 23 | 19 | 2 21.00 | 20 |
| | | 尙 | 23 | 21 | 2 22.00 | 21 |
| 10. | 骨體周 | 尙 | 81 | 80 | 2 805.0 | 73 |
| | | 尙 | 80 | 77 | 2 785.0 | 72 |
| 10a. | 栄養孔位周 | 尙 | 91 | 87 | 2 89.00 | 78 |
| | | 尙 | 88 | 89 | 2 88.50 | 82 |
| 10b. | 最小周 | 尙 | 72 | 70 | 2 71.00 | 65 |
| | | 尙 | 72 | 70 | 2 71.00 | 65 |
| 9/8 | 中央断面示数 | 尙 | 73.33 | 64.52 | 2 68.93 | 74.07 |
| | | 尙 | 73.33 | 68.97 | 2 71.15 | 76.92 |
| 9a/8a | 栄養孔位断面示数 | 尙 | 69.70 | 54.29 | 2 62.00 | 66.67 |
| | | 尙 | 71.88 | 60.00 | 2 65.94 | 67.74 |
| 10b/1 | 長厚示数 | 尙 | - | - | - | 20.50 |
| | | 尙 | - | - | - | - |

表22 膝蓋骨計測値 (mm)

| | | 男 性 | | | | 女 性 | |
|-----|---------|--------|--------|--------|-----|--------|----|
| | | 55-1-1 | 57-5- | 57-5-3 | 平 均 | 57-5-2 | |
| | | | | | n | M | |
| 1. | 最 大 高 | - | - | 42 | 1 | 42 | - |
| | 向 | - | 36 | - | 1 | 36 | - |
| 2. | 最 大 幅 | - | - | 41 | 1 | 41 | - |
| | 向 | 42 | 35 | - | 2 | 38.50 | - |
| 3. | 最 大 厚 | - | - | 20 | 1 | 20 | - |
| | 向 | 19 | 18 | - | 2 | 18.50 | 19 |
| 4. | 関 節 面 高 | - | - | 32 | 1 | 32 | - |
| | 向 | 33 | - | - | 1 | 33 | - |
| 5. | 内 切 面 幅 | - | - | 22 | 1 | 22 | - |
| | 向 | 21 | 18 | - | 2 | 19.50 | - |
| 6. | 外 切 面 幅 | - | - | 24 | 1 | 24 | - |
| | 向 | 24 | - | - | 1 | 24 | - |
| 1/2 | 膝蓋骨高幅示数 | - | - | 102.44 | 1 | 102.44 | - |
| | 向 | - | 102.86 | - | 1 | 102.86 | - |

表23 腓骨計測値 (mm)

| | | 男 性 | | | 女 性 | | |
|------|-------------|--------|--------|-----|--------|-------|-------|
| | | 55-1-1 | 57-5-3 | 平 均 | 57-5-2 | | |
| | | | | | n | M | |
| 1. | 最 大 長 | - | - | | | | - |
| | 向 | - | - | | | | 310 |
| 2. | 中 央 最 大 徑 | - | 17 | 1 | 17 | 17 | 17 |
| | 向 | - | - | | | | 17 |
| 3. | 中 央 最 小 徑 | - | 11 | 1 | 11 | 11 | 9 |
| | 向 | - | - | | | | 9 |
| 4. | 中 央 周 | - | 49 | 1 | 49 | 46 | 46 |
| | 向 | - | - | | | | 46 |
| 4a. | 最 小 周 | - | - | | | | 34 |
| | 向 | 29 | - | 1 | 29 | 35 | 35 |
| 3/2 | 中 央 断 面 示 数 | - | 64.71 | 1 | 64.71 | 52.94 | 52.94 |
| | 向 | - | - | | | | 52.94 |
| 4a/1 | 長 厚 示 数 | - | - | | | | - |
| | 向 | - | - | | | | 11.29 |

表24 推定身長値

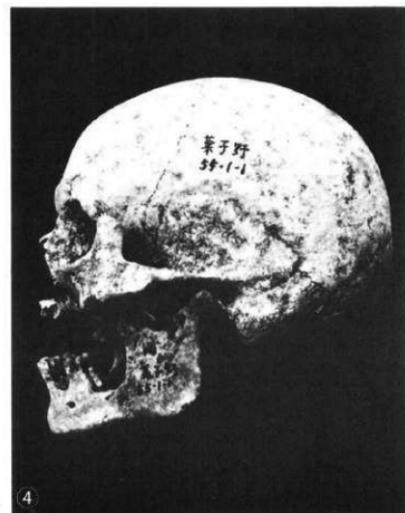
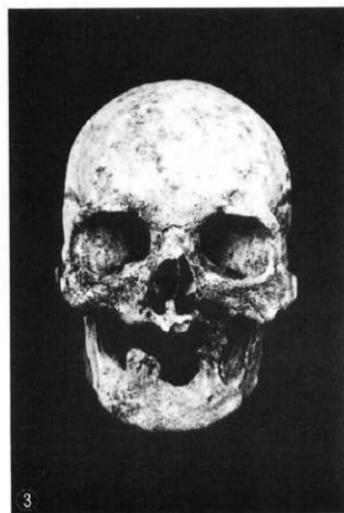
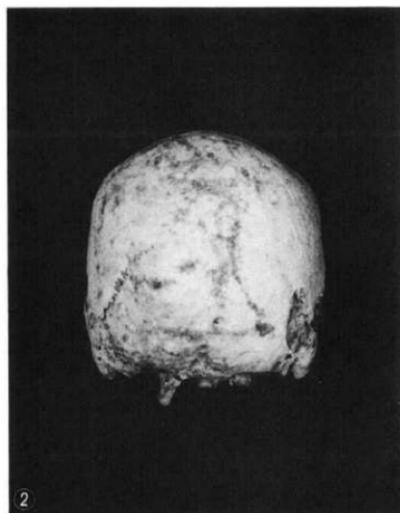
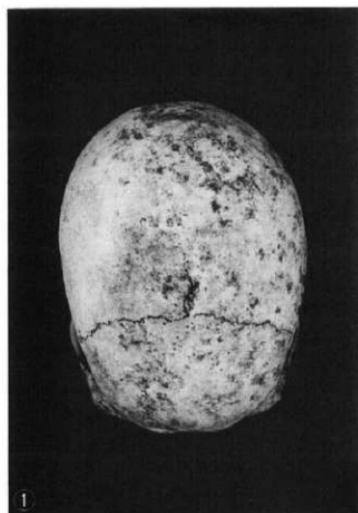
(cm)

| | | 51-1-1 | 57-5-1 | 57-5-3 | 57-5-2 |
|--------|---------|--------|--------|--------|--------|
| | | 男性 | 男性 | 男性 | 女性 |
| 大腿骨(右) | Pearson | 15331 | - | - | 14773 |
| | 藤井 | 14950 | - | - | 14728 |
| (左) | Pearson | - | - | 15613 | - |
| | 藤井 | - | - | 15306 | - |
| 脛骨(右) | Pearson | - | - | - | 15168 |
| | 藤井 | - | - | - | 14981 |
| 上腕骨(右) | Pearson | - | - | 15515 | 14418 |
| | 藤井 | - | - | 15471 | 14413 |
| 桡骨(右) | Pearson | 15462 | - | 15854 | 15276 |
| | 藤井 | 15213 | - | 15600 | 14992 |
| (左) | Pearson | - | 15821 | 15821 | 15310 |
| | 藤井 | - | 15633 | 15633 | 15095 |

参 考 文 献

1. 城 一郎, 1938 : 古墳時代日本人骨の人類学的研究。人類学輯報 1。
2. Martin-Saller, 1957 : Lehrbuch der Anthropologie, Bd. 1, Gustav Fisher Verlag, Stuttgart : 429-597。
3. 松下孝幸, 1981 : 日守地下式古墳出土の人骨。宮崎県文化財調査報告書、第23集 : 169-178。
4. 松下孝幸, 1981 : 宮崎県上の原地下式古墳出土の人骨。宮崎県文化財調査報告書、第24集 : 114-133。
5. 松下孝幸, 1982 : 山口県朝田墳墓群第Ⅱ地区出土の人骨。山口県埋蔵文化財調査報告、第64集 : 179-206。
6. 松下孝幸, 1982 : 鹿児島県敷訪野地下式土壇3号出土の古墳時代人骨。大口市埋蔵文化財発掘調査報告書、第2集 : 11-15。
7. 松下孝幸, 分部哲秋, 1982 : 宮崎県国富町本庄28号地下式古墳出土の人骨。宮崎考古第8号 : 16-20。
8. 松下孝幸, 他, 1983 : 山口県豊北町土井ヶ浜遺跡出土の人骨。
9. 松下孝幸, 野田耕一, 1983 : 宮崎県高原町旭台地下式横穴出土の古墳時代人骨。宮崎県文化財調査報告書。
10. 永井昌文, 1981 : 古墳時代人骨。季刊人類学、12 : 18-26。
11. 内藤芳篤, 1973 : 灰塚地下式横穴人骨。灰塚遺跡 : 72-77。
12. 内藤芳篤, 1974 : 人骨とその埋葬方法。大萩遺跡(1) : 55-62。
13. 内藤芳篤, 松下孝幸, 1976 : 南九州出土の古墳時代人骨。解剖誌、51 : 279。
14. 佐野 一, 1965 : 九州地方古墳時代人々骨の研究(予報)。日本人類学会・日本民族学会連合大会第20回記事 : 212-214。
15. 島 五郎, 寺門之隆, 1957 : 近畿地方古墳時代人頭骨について(略報)。人類誌、66 : 57-64。
16. 寺門之隆, 1981 : 古墳時代人骨。人類学講座、5 : 101-121。
17. 鈴木 尚, 1963 : 日本人の骨。岩波書店、東京。

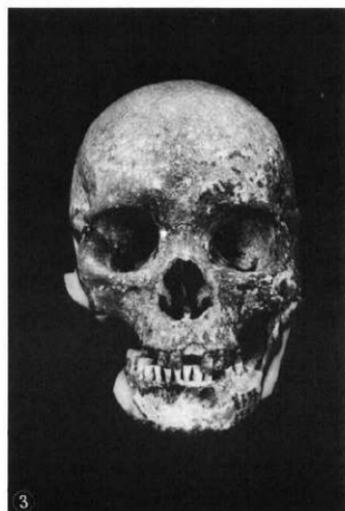
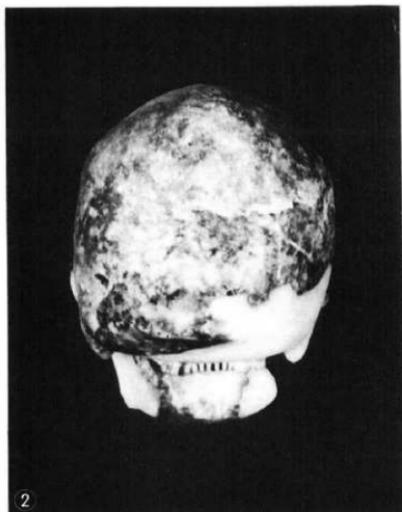
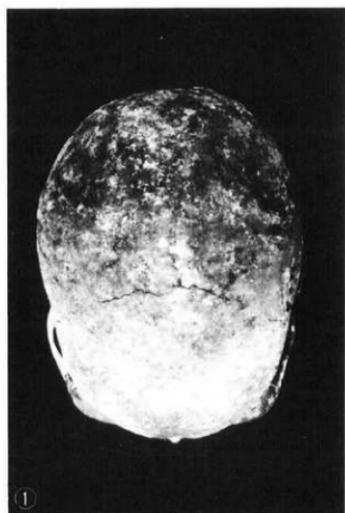
18. Suzuki, H, 1969 : Microevolution changes in the Japanese Population from the Prehistoric Age to the Present-day. J. Fac. Sci., Univ. Tokyo. Sec. V, 3 : 279-309.



(I) 55年1号墳1号人骨(男性・熟年)

1 = 上面 2 = 後面

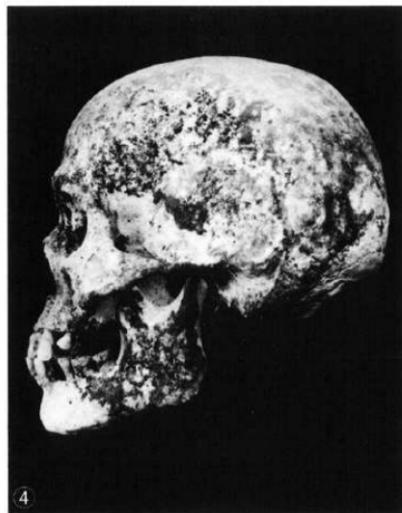
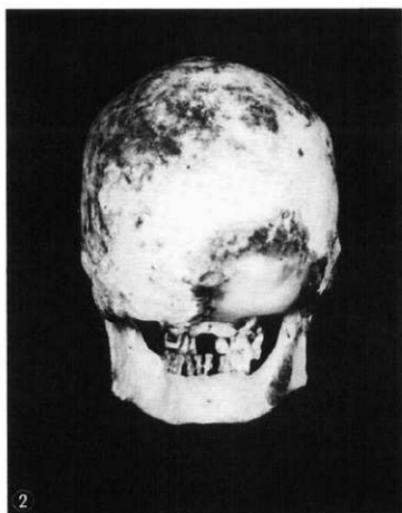
3 = 前面 4 = 側面



(2) 57年5号墳1号人骨(男性・熟年)

1 = 上面 2 = 後面

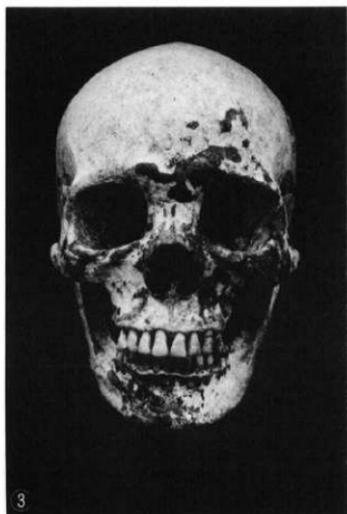
3 = 前面 4 = 側面



(3) 57年5号墳3号人骨(男性・熟年)

1 = 上面 2 = 後面

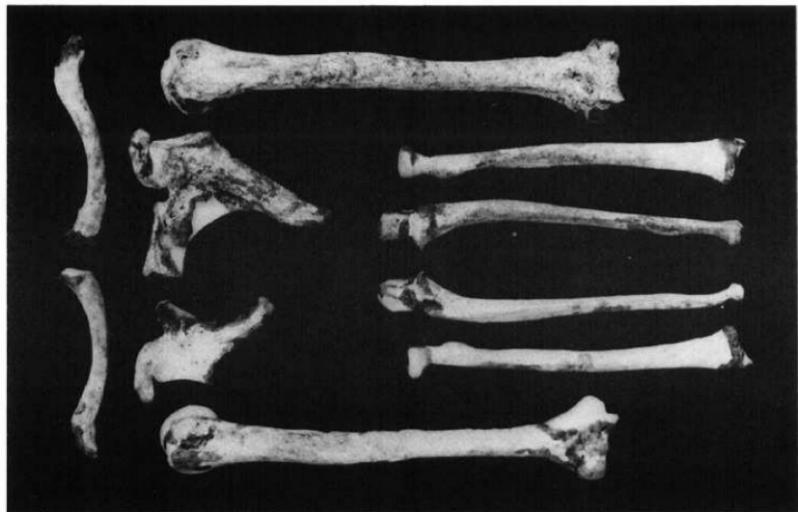
3 = 前面 4 = 側面



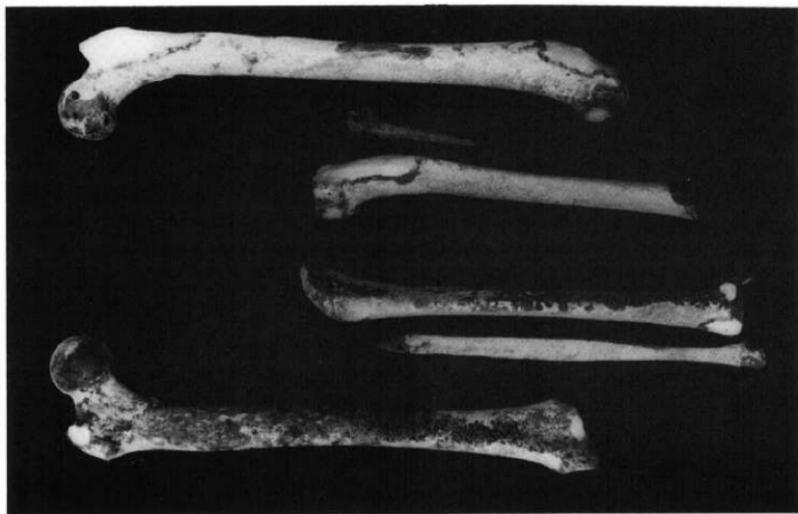
(4) 57年5号墳2号人骨(女性・熟年)

1 = 上面 2 = 後面

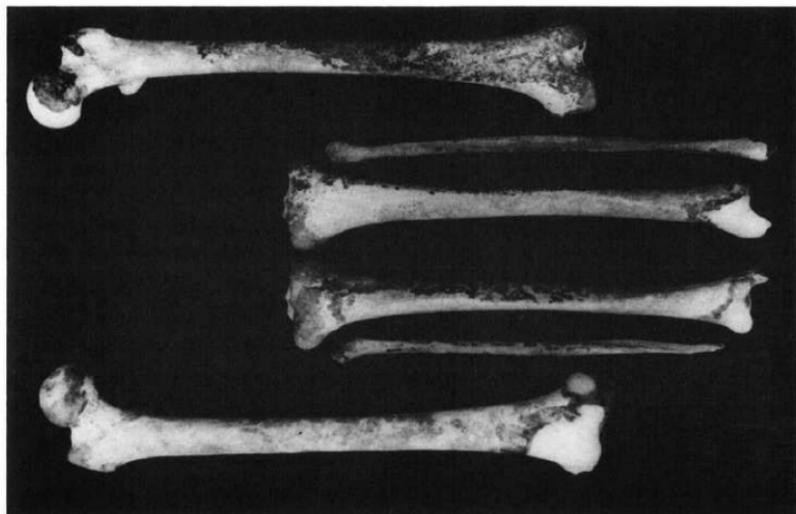
3 = 前面 4 = 側面



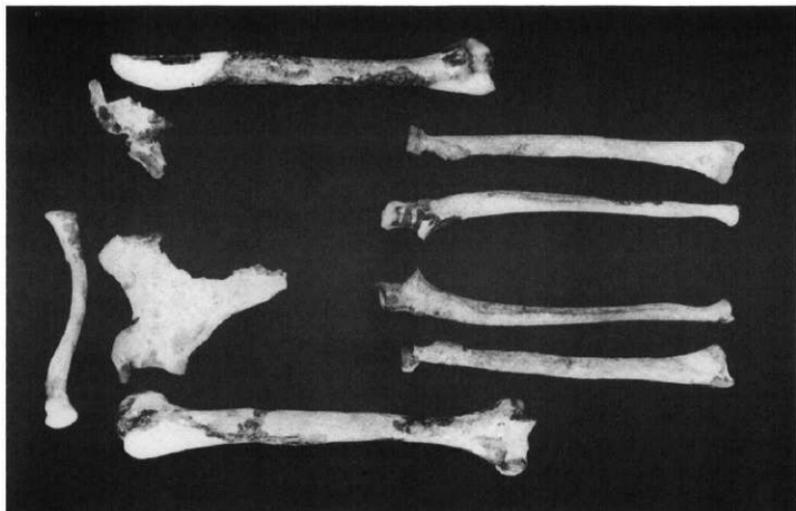
57年5号墳3号人骨（男性・熟年）上肢骨



57年5号墳3号人骨（男性・熟年）下肢骨



57年5号墳2号人骨(女性・熟年)下肢骨



57年5号墳2号人骨(女性・熟年)上肢骨

都城市文化財調査報告書

第 3 集

都城・中之城跡
菓子野地下式横穴

| | |
|-----|--------------------|
| 発 行 | 昭和58年3月31日 |
| 編 集 | 都城市教育委員会 |
| 印 刷 | 都城市立図書館 仰 文 昌 堂 |